

★研修プログラムの説明★

プログラム 番号	プログラム名	プログラムの説明
A	学部横断型研修 プログラム	本学附属8病院において学生と研修者が複数学部混合型グループを編成し、専門領域の高度な医療を行う多職種の医療チームに加わり、医療スタッフと共に討議により情報を共有し、連携・協力して可能な範囲内で適切な治療およびケアについて提案・実践します(学部連携病棟実習)。さらに、高齢患者や難病患者等を対象に地域医療をチーム医療で実践している診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション等を参加型で1週間研修します(学部連携地域医療実習)。研修者は、病棟患者の薬物療法について調査・提案し、グループ討議を実践します(学部連携アドバンス病院実習)。
B	医薬情報の 収集・解析・発信力 開発プログラム	情報源の批判的吟味やエビデンスレベルの確認などを模擬症例、Webデータベースを用いてSGD形式または薬-薬-学連携支援システムを活用して実施します。
C	参加型グループ学習 による臨床判断能力 養成プログラム	薬剤師(薬局・病院)によるフィジカルアセスメントなどの患者情報の収集、副作用モニタリングやトリアージなどの疾患の鑑別、トリアージプランの実施など、疾患の対処法の修得を支援します。少人数制によるSGDと実技や演習を実施します。
D	実務実習における 指導能力向上 プログラム	指導薬剤師と学生間で発生するトラブル対応や指導薬剤師が学生らへフィードバックする際のPNP(Positive-Negative-Positive)手法をロールプレイにより修得します。そして、PBL形式を用いたリーダーマネジメント教育を学習します。特に、グループの中に討議の進行や意見の集約等を行うリーダーをローテーションで担当し、ファシリテートの内容について大学教員や研修者からのフィードバックを受けます。
E	実務実習事前学習 実習	4年次薬学生と共に始めるにあたって実習(SOAPのまとめ方など)、 <u>DI実習</u> 、 <u>リスクマネージメント・注射実習</u> と <u>模擬病棟実習</u> を研修します。さらに、研修者自らが指導することにより学習効果を高めます。
F	調剤・患者対応入門 実習	3年次薬学生と共に <u>コミュニケーション実習</u> 、 <u>DI実習</u> 、 <u>臨床薬物動態実習</u> を研修します。さらに、研修者自らが指導することにより学習効果を高めます。
G	薬-学連携プログラム	薬局実務実習内容の質の向上を図り、地域の実習チームリーダーの養成することを目指しています。
H	コロキウム	病院薬剤師業務の質の向上を図るための参加型のワークショップです。
I	生涯教育セミナー	臨床的課題を中心に専門家による講義を受講します。
J	簡易懸濁研修	適切な簡易懸濁法の普及に向けた取り組みについて、専門家による実習を実施します。